

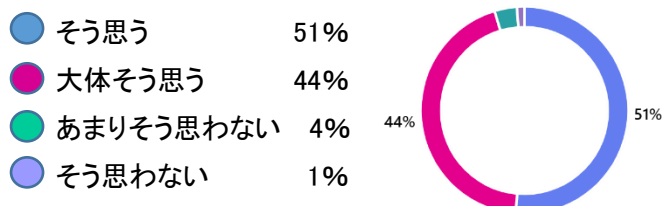
令和8年度 学校評価アンケート(7月実施)の結果

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

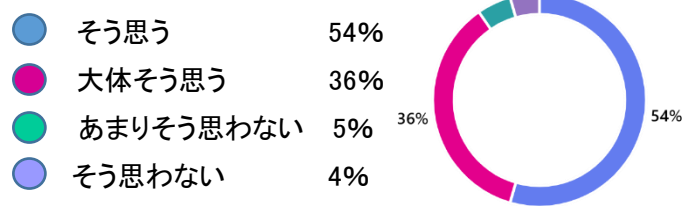
さて、7月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者の皆様からは430件の回答(回収率約60%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。

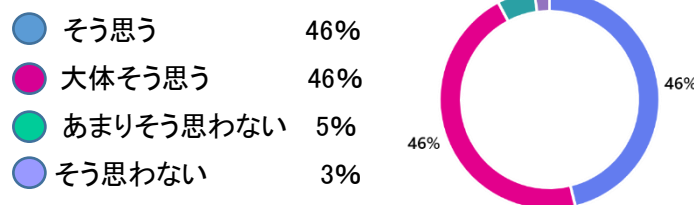
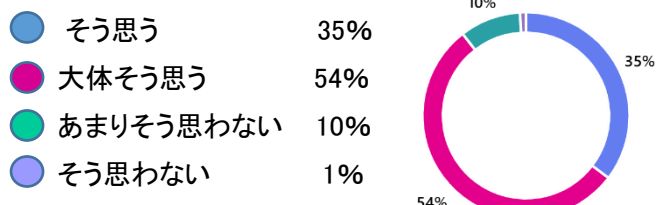


(児童)学校が楽しい。



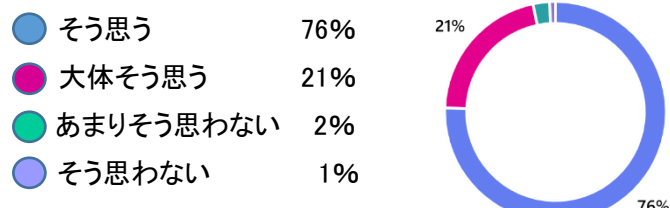
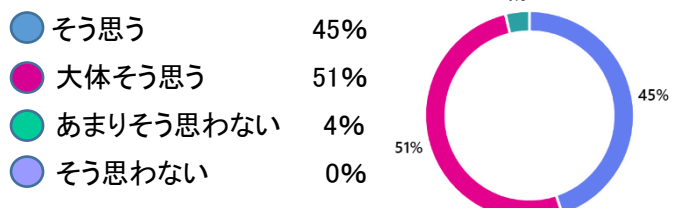
ここ数年のアンケートでは、90%を超える児童が、学校が楽しいと思っています。多くの子が明日も学校に行くのを楽しみにしてくれていることは大変うれしく思います。しかし、「あまりそう思わない・そう思わない」と回答している子が9%(約60名)いることは心に留めておかなければいけません。集団生活の中では、自分の思うようにならず、様々な悩みや困りを抱え、楽しくないと感じることもあるかと思えます。困りや悩みを抱えた子たちからのサインを見逃さず、一緒に解決し、一人ひとりが安心できる居場所を見つけられるように日々の教育活動を進めていきたいと思えます。

② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。



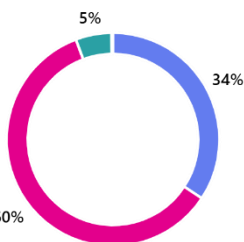
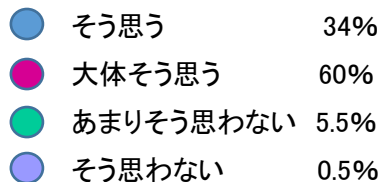
90%近くの方が肯定的に捉えてくれています。しかし、全国学力・学習状況調査やジョイントプログラムなどの結果を見てみると、まだまだ基礎的な知識や技能が定着できていないことがわかります。基礎的な学力を定着させるためにも、授業中に「できた!」「わかった!」がたくさん感じられる授業づくりを目指すとともに、家庭とも連携して、継続的な支援を続けていくことで、学習の土台となる基礎の部分をしっかり和積み上げていきたいです。

③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。

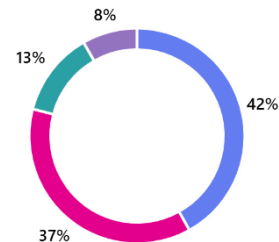
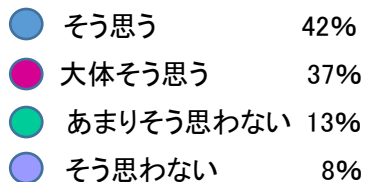


学校教育目標の中にも「互いを認め合い 仲間とともに」という言葉が掲げられています。学校生活を見ていると、困っている子に声をかけ寄り添ったり、下級生を優しく見守り、支えようとする姿がたくさん見られます。そんな姿がたくさん見られるのは、深草小学校の子どもたちの良さだと思っています。その一方で、友だちに対してのきつい言葉が聞かれたり、自分勝手な行動で迷惑をかけたりする姿もまだまだ見られます。互いを認め合い、助け合える関係を築いていけるように、引き続き支援していきたいと思えます。

④ (保護者)お家では、子どものよさを認め、その子のよさを伝えている。

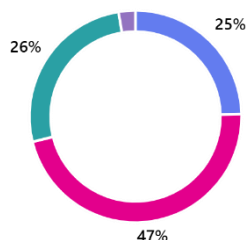
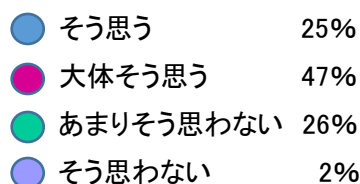


(児童)自分にはよいところがあると思っている。

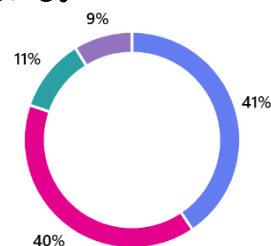
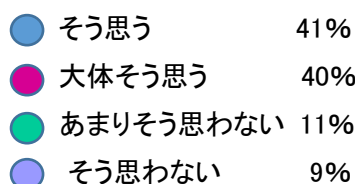


昨年度より、新たに加えた質問ですが、昨年度と大きな変化はありませんでした。約20%の子どもが、自分にはよいところがないと思っています。自分の力を最大限発揮するためにも、“心のコップを上向きに”して、何事にも前向きに取り組んでほしいと思っています。タイミングを逃さず、子どものよさを認め、伝えていくことで自信にもなると思いますので、学校でも家庭でも、前向きな声かけをして、自己肯定感や自己有用感を育てていきたいものです。

⑤ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでしている。

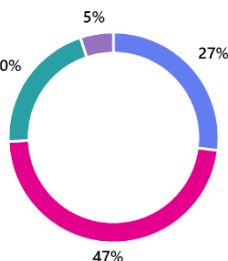
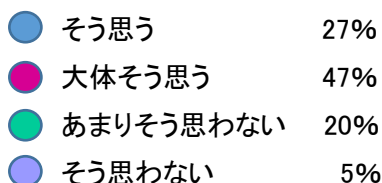


(児童)自分から進んで挨拶をしている。

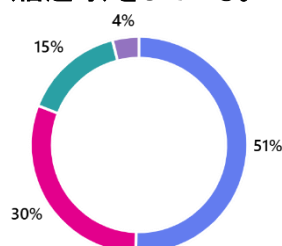
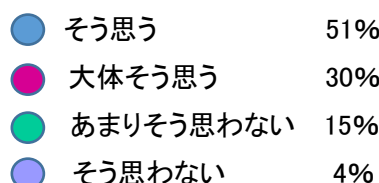


昨年度と比べて、挨拶ができていると回答された数は保護者・児童ともに少しだけ増えていました。しかし、「そう思わない」と回答した児童の割合は増えています。こちらからあいさつをすれば返してくれる子は多いのですが、“自分から”となるとまだまだ少なく、黙ったまま通り過ぎていく子も多いです。気持ちのよい挨拶は、互いの心を和やかにしてくれます。学校でも家庭でも、まずは大人が手本となり、気持ちのよい挨拶をしていきたいものです。

⑥ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。

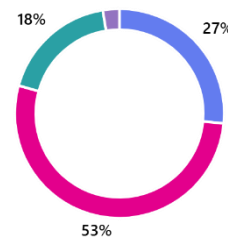
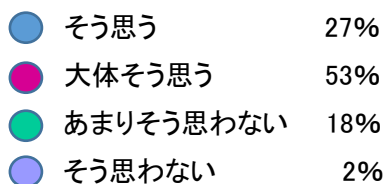


(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。

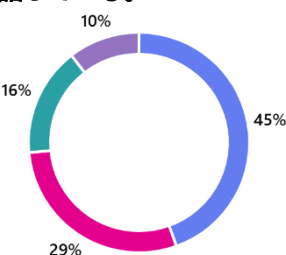
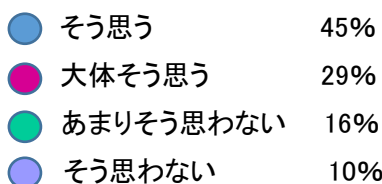


今年度は、5月に『家庭学習・自学自習の手引き』を配信させていただきました。これからの社会では、自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力がますます重要になっていきます。「先生から出されたものをやる家庭学習」だけではなく、「自分で課題を見つける」「自分の好きなことや、得意なこと・苦手なことに合わせて学習することを調整する」「自分がやりたいことを見つける家庭学習」を目指して、学校でも取り組んでいきます。

⑦ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。



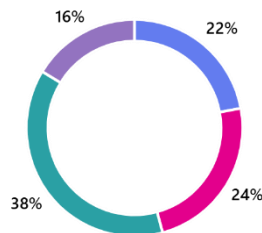
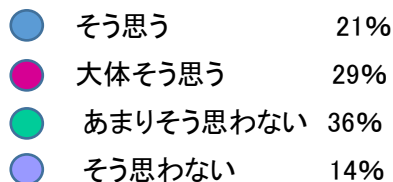
(児童)家の人に学校での様子を話している。



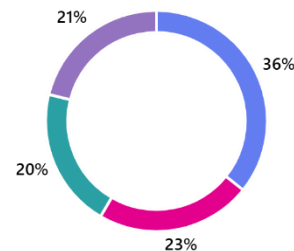
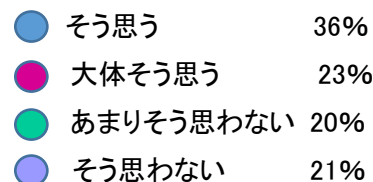
保護者の80%の方に肯定的な回答をしていただいています。昨年度と比べると少しだけ下がっています。各学年の行事などを中心に、ホームページでも学校の様子をお伝えさせていただいていますが、学校での様子をあまり話さないと回答している児童が約25%(180人ほど)はいるので、もっと学校の様子が知りたいと感じておられる保護者は少なくないと思います。今後も、HPなどを通して、できる限り学校の様子を伝えていきたいです。

⑧ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が

身についている。



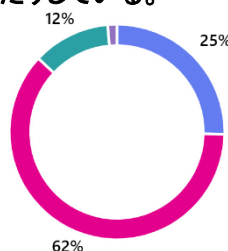
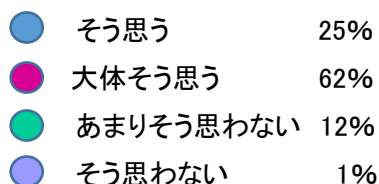
(児童)家で進んで読書をしている。



この数年の回答をみても、家庭で読書をする子どもの数は年々減ってきています。習い事で放課後も忙しくしていたり、パソコンや携帯電話などの使用時間が増加していたりすることが原因だと考えられます。ただ、知識や教養の獲得、想像力や視野が広がるなど、読書によるメリットは様々な研究で報告されています。これからの人生をより豊かにしていくためにも、読書の習慣を少しでも身につけてほしいと思います。

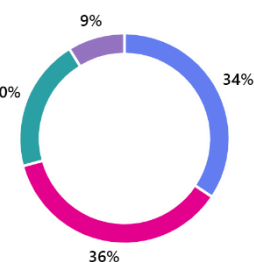
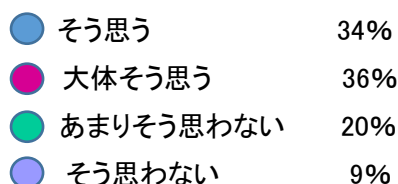
⑨ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いて

くれたり相談に乗ってくれたりしている。



(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したり

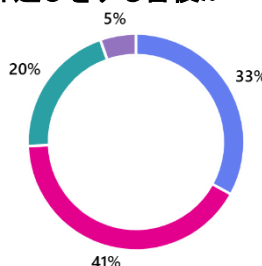
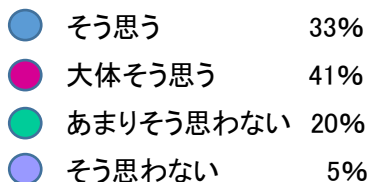
している。



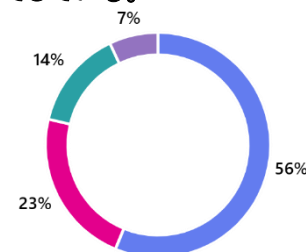
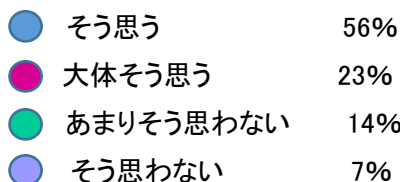
昨年度と比べて、児童では、やや否定的な回答が増えています。チーム担任制も3年目に入り、担任はもちろんですが、担任以外にも気軽に相談できる教職員の存在があるということが子どもにも保護者にも少しずつ浸透してきているように感じますが、担任が途中で変わることによって不安に思う児童がいるのも事実です。引き続き、子どもにも保護者にも話しやすいと思ってもらえる教職員集団であるように努めていきたいと思っています。

⑩ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が

身についている。



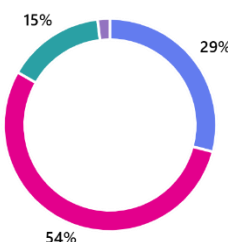
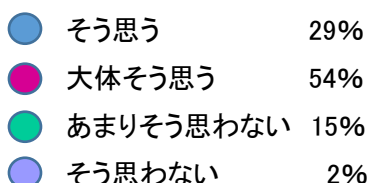
(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。



今年度も、7月に入ってから猛暑が続く、休み時間や放課後遊び、部活動などに制限をかけざるを得ない日が多く、学校では室内で過ごすことが多くなりました。しかし、外で遊べる日には、運動場に多くの子が出てきて、ドッジボールや鬼ごっこなど、汗だくになって遊んでいる姿は見られました。これから涼しくなってきたら、委員会活動や係活動などとも連携しながら、学校でも運動の機会を増やしていければと考えています。

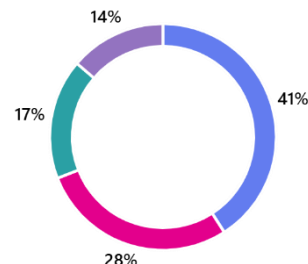
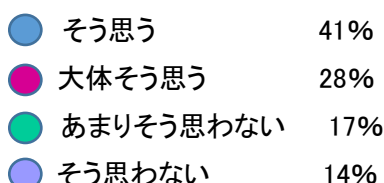
⑪ (保護者)テレビやゲーム、インターネットなどの

使い方のルールを話し合って決めている。



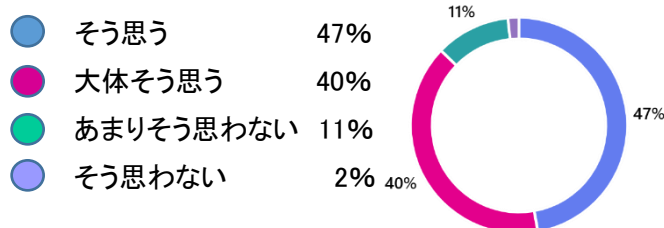
(児童)テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて

行っている。

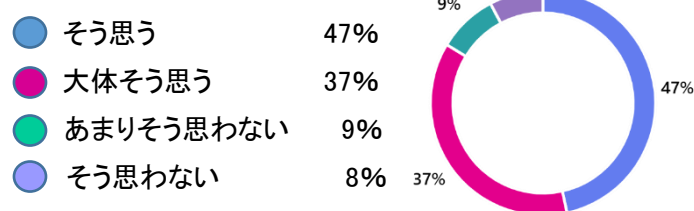


時間を決めて行っていないと回答している児童が約30%います。インターネット等でのゲームや動画視聴の時間が長くなればなるほど、家庭での学習時間も短くなったり、就寝時間が遅くなったりと、生活リズムにも悪い影響が出てくると思います。「深小ねっとルール」も活用していただき、使い方のルールをお子さんと相談し、決めていただきたいです。学校でも、時間の使い方を見直していけるように、支援していきたいと思っています。

⑫ (保護者)子どもは、基礎的生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。



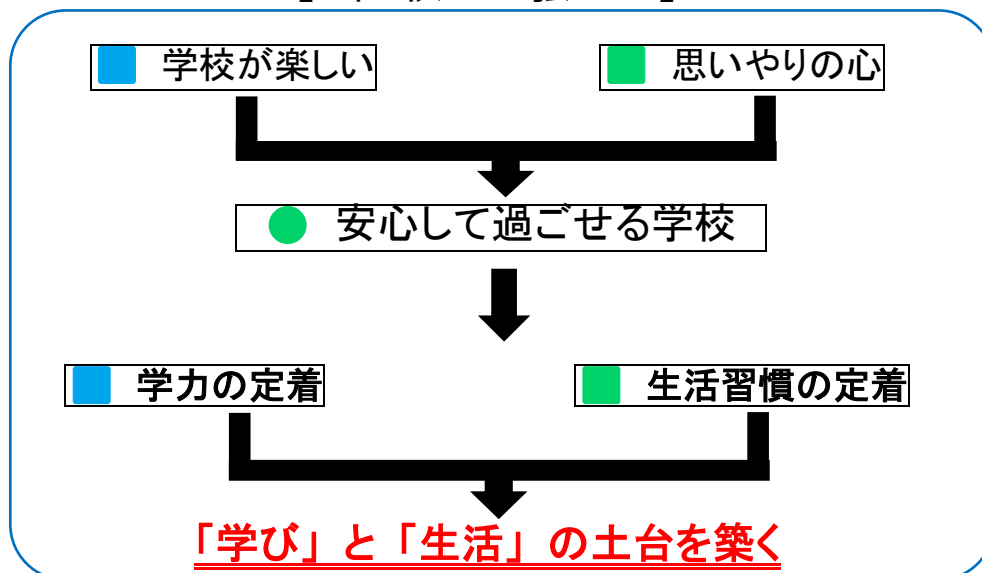
(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校している。



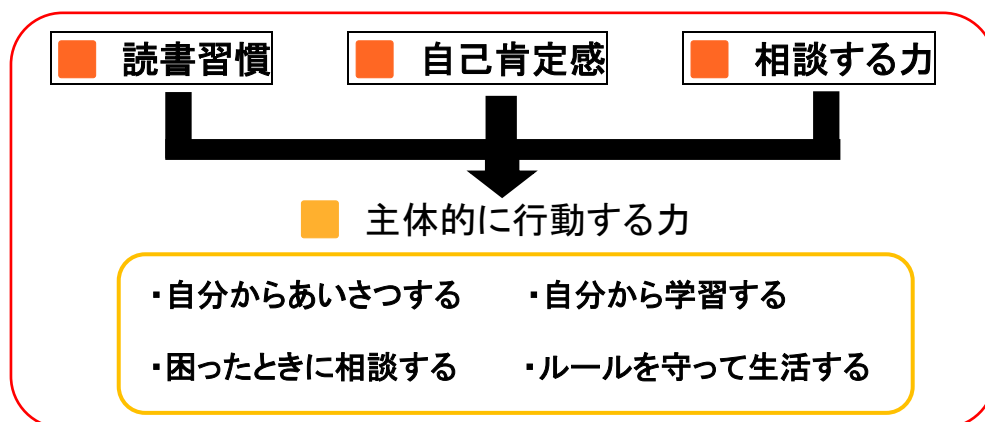
児童・保護者ともに、80%以上が早寝・早起き・朝ごはんの基本的な生活習慣ができていると回答しています。生活リズムを整えることで、心も体も健やかに、1日を元気に過ごすことができると思います。質問⑪とも関連していますが、生活リズムが乱れると体にも心にも、様々な影響が出てきます。この機会に、就寝時刻や起床時刻を見直し、朝、元気に学校に登校できるように、支援していただければと思います。

令和8年度 学校評価アンケート結果から見える子どもたちの姿

【本校の強み】



【さらに育てたい力】



目指すゴール【学校教育目標】

★ 互いを認め合い 仲間とともに すすんで学び続ける 子どもの育成